

鳥取県西部  
中小企業青年中央会「お地藏さまプロジェクト」で  
大山への愛着を醸成

第2回フェスティバルで、地藏をきれいにする子どもたち(2017年5月、大山町大山)

地藏菩薩を祭り、2018年に開山1300年を迎えた大山で、16年から「大山お地藏さまフェスティバル」を開催している。大山と地藏に親しみながら、ふるさと子どもたちに、地元への愛着を深めてもらうのが狙い。

「大山さん（のおかげ）」と、古くから大山をあがめてきた県西部エリア。その感謝の気持ちを改めて見つめ直そうと、大山寺周辺にある古くから祭られた33の石地藏にスポットを当てた。

17年5月に開いた「第2回お地藏さまフェスティバル」には、約300人が参加。大神山神社奥宮参道沿いの7カ所で、子どもたちが、たわしなどで地藏をきれいに清掃した。子どもたちが描いた地藏の絵550点も参道沿いの店舗などで展示。流しそばも楽しんだ。

18年のフェスティバルは悪天候で中止となったが、地藏をキャラクターにした着ぐるみ「こつとさま」を制作し、子どもたちの地藏の絵750点を市内のショッピングセンターで展示。伯耆国「大山開山1300年祭」の盛り上げにも役買った。

県西部のランドマークであり、さまざまな恩恵をもたらしてくれる大山。未来を担う子どもたちの心に、大山と地藏の原風景が刻まれていく。



地藏の着ぐるみ「こつとさま」



大山とお地藏さまを「ふるさとの原風景」に、未来を担う子どもたちが、この地域を愛し、盛り上げていく原動力となってくれることを願います。



会長  
秋里 武信さん

